



目標・希望・友達

令和7年8月9日
長崎市立女の都小学校
校長 佐藤 和幸

今日8月9日は長崎原爆の日であり、長崎県ではこの日を「県民祈りの日」と定めており、午前11時2分にはサイレンが鳴り、原爆犠牲者のご冥福を祈り、恒久平和への誓いを新たにすために黙とうを捧げました。

学校で行った平和集会では、2年生、4年生、5年生が平和について発表を行い、全校児童が折った千羽鶴の紹介があり、みんなで「折り鶴」を歌いました。平和の大切さを考えた1日でした。

※ 8月1日（金）にtetoruで「女の都小学校 創立50周年記念スローガンの作成について」という文書を配信しています。ご協力をお願いします。



平和集会 校長の話

今から80年前、世界中を巻き込んだ一つの大きな戦争が終わりました。第2次世界大戦と言われる戦争です。この戦争によって世界中で何千万人もの人たちが命を落としました。

今日は平和公園で10時45分から被爆80周年長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典が行われます。女の都小学校からも代表として6年生が2名と教頭先生が式典に参加します。

この戦争で日本に対して使われたのが原子爆弾です。8月6日に広島、8月9日に長崎に原子爆弾が落とされました。世界で初めて戦争に核兵器が使われたのです。原子爆弾はとてつもなく威力が大きい爆弾です。そのため、多くの被害を出しました。長崎では一瞬にして町が焼け野が原となり、約15万人もの人たちが、亡くなったり大きなけがをしたりしました。また、この時生き残った人たちの中には、放射能のために病気になり、数日のうちに亡くなる人たちも多くいました。そして、今も苦しんでいる人たちがいます。

皆さんもテレビや新聞で、世界には今この時にも戦争が続いているということを知っているのではないのでしょうか。戦争が行われている地域では、皆さんのような子供たちを含む多くの人たちが、食べるものがなく、住むところもなく、身近な人が亡くなり、そして自分も明日生きているのか分からないという不安な毎日を過ごしています。みんなが安心して過ごせる平和な世界の大切さを感じます。

今日は皆さんに「へいわって すてきだね」という絵本を紹介します。女の都小学校の図書室にもある本なので、読んだことがある人もいるかもしれません。この絵本は、沖縄県に住んでいる安里有生（あさと ゆうき）さんが小学1年生の時に詩をつくり、長谷川義史（はせがわ よしふみ）さんという絵本作家の人が絵を描いています。6歳の子供がつくった詩に、皆さんはどんなこと感じるでしょうか。それでは聞いてください。

※「へいわって すてきだね」読み聞かせ

さあ、皆さんは、この絵本からどんなことを感じたのでしょうか。平和のすばらしさ、戦争の恐ろしさを感じた人もいるかもしれません。校長先生は特に、詩の中に書いてあった「これからもずっとへいわがつづくように ぼくも、ぼくのできることをがんばるよ」という安里有生さんの決意がすばらしいと思いました。平和な世界をつくっていくのは私たち自身です。その気持ちがよく伝わってきました。8月9日のこの日に、平和な世界にするために皆さんにできることは何なのか、ぜひ考えてみてください。これで校長先生の話が終わります。